

進路だより 2025

第 24 号

2025年 11月 21日(金)

沖縄県立真和志高等学校

進路指導部

3年生へ集計を取り、専門学校へ進学希望する人の年間タイムラインを作成しました。また、統計の結果、**夏休みまでにオープンキャンパスを済ませる。9月上旬には願書提出をする(or 準備)**をしておかないと専門学校へ進学するとしたら遅い行動であると、**“活動のデッドライン(=メ切)”**を教えてくださいました～!!

ROAD MAP

専門学校 進学 ロードマップ

進路決まらない人

12月以降

★進路決定

合格通知を
進路へ提出を

10～11月

8割の生徒が
合格し始めるが

○合格通知が届いてから、入学金の支払いを親と確認する。その後、進路室へ合格通知を提出した。合格体験記を書いて、後輩へアドバイスを残した。

○自宅から専門学校まで、バスで通っていると不便だと気がついたので、自動車教習所に通いはじめた。ついでにバイトも。

○まだ進路決まっていない人が、専門学校希望した生徒の1/10くらいだと聞いた。学費減免などの制度がない、一般入試へ挑むことになってしまった。

○6月まではオーキャンへ参加して進路を迷っていた
→7月総合型エントリー(7月中にエントリーで学費減)→9月願書提出(9月中に提出で学費減)
→10月合格通知→特待生面接実施。

○合格後は、お金のことを考えている期間が長かった。
手続きに不備がなかったか?など。

9月下旬に合格→10月に入学金支払い→2週間ほど1～3回事前学習→以降バイトでお金を稼ぐ

○通知が届かずに不安だった。学校側にいつまでに届くかきちんと確認する。

○通知受取後、1週間以内に入学金の支払い。

○この時期少ないけど、進路が決められなかったの、とりあえず数えきれないくらいオーキャンへ参加。

夏休み

9～10月

4～7月

○夏休みを利用してオーキャンへ4回参加。

○特待生(学費がほとんど免除になる制度)面接は、8月から対策開始、10月に面接実施。

○進路決定(6月)→オーキャンにてエントリー(7月初旬)→面接(7月中旬)→総合型合格書→本出願提出(9月初旬)→合格通知(9月)の流れでした。

○オーキャン参加(6～7月)→親に反対され進路変更(8月)→再度オーキャン参加、即面接(9月中旬)→合格(9月下旬)

3年生へ進級

○行きたい学校の口コミと卒業後の就職実績のリサーチを始めた。その後、オープンキャンパスへ申し込み、調べた内容と合っているのか質問したりしていた。

○卒業後、何ができるかを考えて進路を決めた。○体験授業に参加し進路を決定。

○昔好きだったことと、今得意なことを思い出して進路を決めた。

○進学先の授業内容や、自宅から通える距離か?自分が楽しめそうな学科か?似た内容を学ぶことができる専門学校なら、学費の比較。試験内容の確認などをしていた。

2年生

○自分が興味あるもの、そうでないもの半々で学校を調べた。大学志望だったが、進路相談会に参加して専門学校にも目をつけた。

○専門学校へ進学したいと、親とお金(入学金や学費、生活費)の話を初めてやった。

○色々な学校のHPを見ていた。○進学先を県内か県外かで迷いながら、3年なる前に決めた。

○県外へ進学するなら、4月からアパートを探さないと学校に近いところ&安いところは埋まると聞いて、2年のうちに県外への進学先を確定させていた。